

平成二十八年十一月投句

【春日公園 白水公園】

コンテナに向かふクレーン鷺のごと

仕事場の小さな鏡木の葉髪

竹ぼうき聞こえる奥へ紅葉路地

勝利

猪鬣を確かめに入る山獵師

真理子

槌の音す風除の杭打ちをるや

落葉掃く我に月掃く櫂かな

かたまりて庭師休憩初時雨

相寄ると思へば交差鴨の水脈

石人に守られる墓冬紅葉

節子

落葉搔土の匂ひも搔きあげて

由紀子

古墳へと低き生垣お茶の花

粧ひし山より赤き月昇る

立冬の午後四時の陽の東京に

なつかしき人訪ふ秋の石榴坂

光子

【お休み】

佳与子

道迷ふまた山茶花の花に出て